

2016年 5月 2日

助成事業実施報告書

団体名 社会福祉法人いずみ「スマイル」
代表者・役職名 氏名 管理者 梶沼知徳

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

防火カーテンおよびロールスクリーン整備事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

どんなに重い障害を持つ子どもたちも、放課後活動を楽しむ機会を作ってあげたい。そんな思いを持つ保護者が集まり平成10年に自主活動としてスタート。平成12年から東村山市あゆみの会(肢体不自由児者父母の会)による東京都・東村山市の補助事業となり、平成14年よりNPOあゆみが運営、平成23年より障害者自立支援法への法内移行を機会に社会福祉法人いずみの運営となっています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

「スマイル」は放課後活動の時間のみでなく、地域福祉に関係する様々な方が、様々な時間帯に利用する施設となってきました。地域に無料開放している時間帯は高齢の方々の利用が多く、また、平成28年度から重症心身障害児を主に対象とする放課後等デイサービスを併設するにあたり、施設を利用する「スマイル」の児童および地域の方々がより安全に過ごすことが出来るようにするであるため、防災設備を整える必要性があると考えています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

見積を頂いている内容で防火カーテン、防火ロールスクリーンを発注。
(防火カーテン12枚、防火ロールスクリーン6枚)
納品され次第、現在使用しているカーテン、ロールスクリーンを防火カーテン等へ交換する。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

防火カーテン、防火ロールスクリーンに交換し、障害の重い方や高齢者の方々が安心して活動を行うための設備を整えることができました。防災設備を整えたことで今後も地域福祉の活動場所として使用して頂ける旨を東村山市民生委員の方に伝えていきます。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

重症心身障害児の受け入れを拡大していくとともに、地域の方々を対象とした施設開放を継続して行い、地域福祉推進事業に携わっていきたい。また、施設を利用して頂いた地域の方々に「スマイル」の活動を知って頂き、障害福祉への地域理解を促していきたいと考えております。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

防火カーテンおよびロールスクリーン整備事業

《整備前》



《整備後》

